

2018年度活動報告

千葉県野田市議の長南氏（新社会党）の引退に伴う退会と非議員で若干の退会があり、一方「ベテラン市民派」高砂市議の井奥氏（緑の党）が復帰し、現存会員数は47人に。

◎47 会員中、現職議員 26、前元職 8、候補検討者 14

近畿 37（大阪 29・兵庫 7・京都 1）、中部 1（愛知 1・長野 1）、北陸 1（石川）、
関東 4（東京 3）、東北 2（福島・秋田）、九州 2（鹿児島）

●9月のアベ自民党総裁3選で第3次安倍内閣が発足したが、アベ政治の悪辣さは一層増加し、森友・加計疑惑や山口敬之レイプ事件が解決されるどころか、行政文書・閣僚の不正と差別暴言・統計不正操作・マスコミ操作・悪法の続々強行採決（カジノ法/働き方法/水道法/漁業法/入管法/等）・沖縄弾圧・消費増税発表等々、底なしの不正腐敗と民衆収奪強権政治を進めた。（維新が同伴）

■その一環で労働運動と協同組合運動それ自体を否定するに等しい「連帯カンナマ大弾圧」が続き、ヘイト右翼から当ネット会員議員への名指しの誹謗中傷がネットでも大宣伝されたが、会員は毅然として当ネットに結集して、これらの動きと闘った。木村副代表が労組実行委で奮闘してきた。

★会員は各地でアベ政治反対・反ヘイト・辺野古基地反対・原発再稼働阻止、行政の適正化等で奮闘した。9月沖縄知事選でのデニー氏大勝利は我々の喜びでもあり、その後の攻防にも心を寄せてきた。

●岸和田市議補選で強烈反ヘイトの高比良氏の当選が叶わなかった事と、川西市議選で「NHKから国民を守る党」になった邪悪ヘイトの中曽千鶴子の当選を阻めなかった事は極めて残念だった。

◎資料郵送は5回行なった。●新規MLを試行したが性能に種々の問題が発見されて、結局従来MLを使いつつ別途に新たな「資料送信方策」を使う事になった。が、まだ友好な活用がされていない。

●「会員有志の発案企画による勉強会的集会」の年度方針は、2018年度も各人多忙で実行できなかった。

2019年度役員人事(案)

代表：戸田ひさよし・大阪府門真市議
(連帯ユニオン近畿地本顧問)

副代表：木村まこと・大阪府豊中市議
(森友問題追及で提訴等)

中西とも子・大阪府箕面市議

今年の会員の自治体選挙

◆大半が4月に統一地方選挙!

・茨木市議の山下さんと前泉南市議の小山さんは大阪府議選に、
・川西市議の北上さんは兵庫県議選に
・池田さんは駒ヶ根市議選に初挑戦!

◆大阪では都構想強行の「利権とペテンの維新」粉砕する大チャンス!

▲増大するヘイト候補やヘイト宣伝を許さず粉砕していこう!

2019年度活動素案

- 1: まずは統一地方選で種々のヘイト・反動勢力との選挙戦に勝って、議員としての足場を強固にする。
- 2: 連帯ユニオンと力を合わせて、「警察権力・大阪広域生コンクリート協同組合・ヘイト右翼が結託した連帯労組攻撃」をやめさせる運動を引き続き展開していく。
- 3: 反ヘイトの先進人士達と協同を深め、前田先生著作などの反ヘイト研修を進めて、自治体行政に「住民の安全と尊厳を守る行政責務」を果たさ、「ヘイト扇動を許さないまちづくり」に奮闘する。
- 4: 安倍政権打倒、改憲阻止、「自公維新」粉砕の野党共闘推進運動に積極参加する。
- 5: 全原発の停止廃止を求める種々の運動と連携する。「沖縄意見広告運動」に協力する。
- 6: 行政・企業の改善、地域住民の生活労働条件の向上に資するべく、会員相互・会員と連帯ユニオンとの連携を進める。「違法企業に甘い行政」の体質改善を共同して行なう。
- 7: 郵便ニュース・資料発送を年間4~5回程度行なう。
- 8: 会員の増加、議員会員の増加を目指し、選挙のある会員に出来る範囲での支援を行なう。
- 9: 昨年末に従来のメーリングリストで資料添付可能な方策が開発されたので、これを活発に利用して情報・意見の交流を広げていく。
- 10: 第15回大会を2020年の2月前半に行なう。ほか。